

申請用紙（押印したものを PDF にして分析化学会近畿支部にメールでお送りください。）

申請日時 年 月 日

申請者氏名： 印

(A) 会議開催時点での年齢(42 歳以下): 歳

(B) 会員種別

- 1) 日本分析化学会近畿支部に所属する会員： 会員番号
- 2) 日本分析化学会の維持会員もしくは特別会員である近畿地区の企業に所属する者: (企業名など)
- 3) 近畿分析技術研究懇話会の会員である企業に所属する者: (企業名など)

[註]：助成の趣旨から申請書提出時には会員であることが条件となります。

非会員の方は日本分析化学会の HP より入会手続きをお急ぎください]

* 過去に助成をうけた者は応募不可です。

(C) 所属：

(D) 職位：(学生の場合例えば M1, D2 のように記述ください)

(E) 指導教員名ならびに研究室名

もしくは国際学会参加承認をいただける直属上司および部署名：

(F) 申請者連絡先：〒

(G) 申請者 e-mail:

(H) 申請者電話番号：(携帯でも OK)

(I) 指導教員名あるいは直属上司氏名 e-mail:

(国際会議参加の確認をさせて頂く場合があります)

(J) 発表タイトル：

(K) 国際学会での発表： ☐口頭発表（分）， ☐ポスター発表

(L) 発表者(登壇者に○をお願いします):

(M) 参加予定の国際学会名：

(N) 開催日時： 年 月 日～ 年 月 日

(注) 学会会期が第1および2期応募期間にまたがる場合

学会開催の初日で第1期応募/第2期応募を判断してください。

(O) 開催地：

(O) 旅費・滞在費の概算額（円換算）：(大体の額で結構です)：

(P) 旅費・滞在費の主たる支給元およびその支出率：

(例：私費 100%，科研費 70%+私費 30%)

(Q) 国際会議参加料（円換算）：

発表の abstract

（英文で記入。国際会議等に提出する Abstract を流用しても構わない。ただし図表の貼り付けは不可）

誓約書

近畿分析技術研究国際交流助成制度を利用した国際会議の支援においては、その使用にあたり不正利用がないようにコンプライアンスを遵守して使用することを誓います。

申請者所属・氏名

(自署)

日付